様式07　実施報告書

情報通信月間参加行事 実施報告書

行事ID	主催団体	行事形式(※)	行事名
C048	(一社)日本ケーブルテレビ連盟	①　②	日本ケーブルテレビ大賞 第52回番組アワード

開催日	開催場所	行事参加人数	Webサイト・URL
7月23日	東京国際フォーラム	応募数:224作品 来場数:350人	https://www.catv-jcta.jp/p/award/2026/index.html

行事実施概要・アピール等

■実施概要
＜作品募集＞　2026年3月2日(月)～　3月31日(火)
＜募集部門＞　①【ドキュメンタリー部門】【同新人賞枠】　②【コミュニティ部門】【同新人賞枠】
＜ 応募数 ＞　224作品(内訳:ドキュメンタリー部門86 同新人賞枠24、コミュニティ部門94 同新人賞枠20)
＜ 審　査 ＞　予備審査　4月13日(月)～ 5月11日(月)　(本審査対象32作品に絞り込み)
本審査　6月15日(月)(外部有識者6名の審査員で各賞決定)

■受賞結果
・グランプリ　：　株式会社ちゅピCOM／山陰ケーブルビジョン株式会社
世界がみた8・6
・準グランプリ　：　伊那ケーブルテレビジョン株式会社
陸軍登戸研究所　～本土決戦に備えて～
・審査員特別賞　：　株式会社キャッチネットワーク／株式会社CAC
CCNet株式会社／西尾張シーエーティーヴィ株式会社　(愛知県4局)
ユネスコ無形文化遺産登録10周年記念番組「拝啓、100年後の祭人へ」
・新人優秀賞　：　株式会社広域高速ネット二九六
共生か排斥か～日本を選んだ外国人労働者の今～　(ドキュメンタリー部門)
・新人優秀賞　：　株式会社中海テレビ放送
報道特別番組「日野橋のあり方を考える」(コミュニティ部門)
ほか、優秀賞5作品、奨励賞9作品

■アピールポイント
番組アワードは、全国のケーブルテレビが制作する優れた番組を称え、地域社会に根ざした映像情報文化の発展に寄与することを目的に、1975年より毎年開催しています。
贈賞式当日には受賞作品の講評を中心にケーブルテレビの番組制作を考えるシンポジウムを開催したほか、許諾の確認できた受賞作品は、WEBサイトでストリーミング配信するほか、全国のケーブルテレビで放送できるよう配信し、視聴者に選りすぐった番組を届けています。







